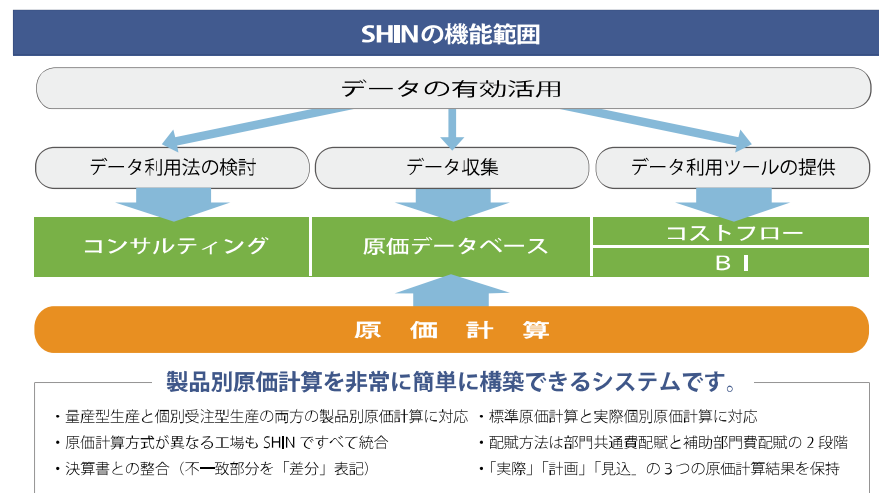


原価管理の「答え」がここにある

真の原価管理を 実現するシステム



SHIN が対応している原価計算機能

1. 原価計算方式		3. 原価差異	
生産形態	量産型／個別受注型		
原価計算方式	標準原価計算／実際個別原価計算	標準原価計算 (計画原価方式含)	実際原価計算 (個別)
原価計算形態	単純総合／組別総合／個別原価	材料購入単価差異	○
工程別	あり／無し	材料消費数量差異	○
出庫方式対応	バックフラッシュ型／プッシュフォワード型	労務費レート差異	○
生産管理方式	製番管理／総量管理	労務費時間差異	○
データ表現	非累加法	外注費レート差異	○
		外注費数量差異	○
		経費レート差異	○
		経費数量差異	○
		製造間接費予算差異	○
		製造間接費能率差異	○
		製造間接費操業度差異	○

2. 配賦計算	
配賦計算	部門共通費配賦／補助部門費配賦
配賦法	直接法
配賦基準方法	固定比率配賦
配賦レート	予定レート／実績レート
レート単位	全社レート／部門レート
配賦基準値	実際値配賦／予定値配賦
配賦周期	月度配賦／年度配賦
配賦レベル	最大5レベル

■ お問い合わせ先

製造・販売 株式会社ケイズ
〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸町2-6-8
日本橋 KS ビル3F
TEL: 03-5640-6351 (代表)
MAIL: info@ksic.co.jp
URL: http://ksic.co.jp/

コンサルティング・販売
株式会社イープラス
TEL: 026-296-8677
MAIL: info@shin-eplus.com

■ 設計監修 岡本 俊也 公認会計士

システムエンジニアとして、経営情報管理システム等の開発に携わる。その後公認会計士の資格を取得。監査法人にて多くの企業監査を経験後、独立。システムエンジニアリング技術を活かすもつ会計士として、システム監査、生産管理システム/原価管理システムの開発導入コンサルティングを手がける。
特に原価管理に関しては得意分野とし、中小企業の手軽なIT活用や、原価管理の簡易システムを開発し数社に提供。その過程で中小・中堅企業における原価管理業務の必要性和、システム不在の現況を感じ、これまで提供したシステムのトータル版ともいえる原価管理パッケージ「SHIN」を開発。会社の規模を問わず安価に導入でき、有益な情報活用を実現する「コンサルティング+パッケージシステム」という新しいサービスを発信している。

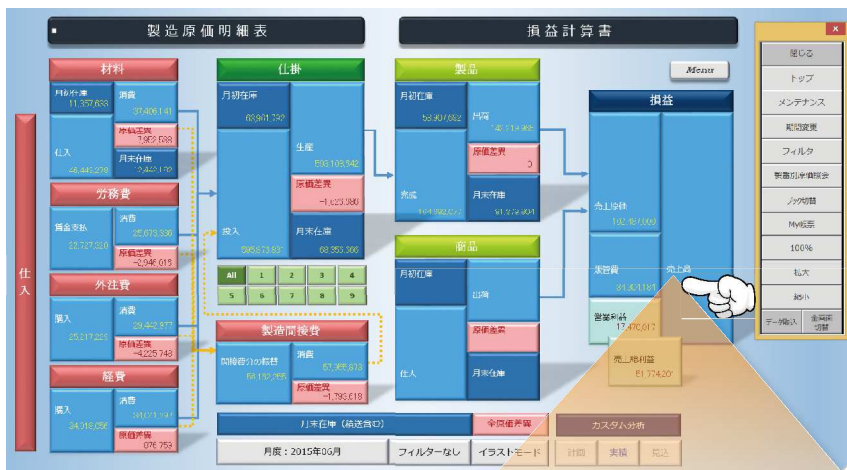
公認会計士 × S I だからの視点

中小・中堅企業のための原価管理システム

<http://shin-eplus.com/>

利益・原価情報はコストフロー1枚で管理する！

SHINのメニューはコストフロー



コストフローとは？

仕入→製造→出荷→利益と、会社の中を流れてゆく情報を可視的に表現した図です。

●コストフローがスタートメニュー！

SHINはコストフローをそのままメニューにしました。これはSHINの他にはない大きな特徴の一つです。原価管理になじみがなくても、直観的に要確認事項がわかり、使ってゆくうちに自然と原価管理が身につきます。

●リアルタイムに整頓されるキャビネット

仕入・売上・日報・生産情報など、バラバラに存在している各部門のデータは、SHINの取込み機能によって、コストフローのあるべき位置に格納されます。(キャビネットに書類を整理するのと似ています)

●あらゆる集計分析を想定したファイリング

データは明細のまま保持し、あらゆる串刺し集計を瞬時に可能とする加工がされています。(書類にタグをつけてファイリングするのと似ています)これにより様々な集計から最終的に明細伝票までたどることができます。

●ファイリングは専門家がコンサルティング

社内データの収集と整理は全部門にかかわるため非常に煩雑です。原価管理体制構築の難しさは、この作業にかかる部分が大いといえるでしょう。SHINはこの部分のコンサルティングを専門家がご訪問して行います。

直観的でわかりやすい操作性

直観的に全体を俯瞰することができる

SHINの原価管理は、このたった1枚で全体を把握できます！その後次第に細かく、気になるところの分析に入っていきます。

見たい帳票がどこにあるかすぐわかる

会計の専門的な帳票名が羅列されているメニューでは、欲しい資料を探すのは大変ですが、コストフローは業務の流れに沿っているので簡単。見たい部分をタッチ(クリック)するだけです。

自由集計分析

コストフローの見たい部分をタッチすると、自由集計分析画面に遷移します。ここでは製品分類ごと、取引先ごと、部門ごと、品番ごとなど様々な項目が用意されており、それらの組み合わせ、クロス集計、時系列、予算比較、並び替えや特定項目だけのフィルターなど、あらゆる集計分析がその場で自由に行なえます。作成した集計表は、グラフ表示することもボタン一つです。



欲しい帳票をカスタマイズすると時間もコストも大変。自分で自由に帳票を作れるこんな機能が欲しかった！

売上の上位者(ABC分析)もボタンひとつ！



見たいBOXをクリックすると分析集計画面が開きます。

損益-売上高		
損益要区分	売上	売上
月度	2015年06月	2015年06月
製品大分類名	製品中分類名	金額
(空白)	(空白)	5,586,833.00
11 自動車部品A	10 乗用車	98,137,916.00
12 自動車部品B	20 RV	21,831,716.00
11 自動車部品A	90 その他	1,833,600.00
12 自動車部品B	10 乗用車	3,389,046.00
12 自動車部品B	20 RV	6,650,584.00
12 自動車部品B	30 商用	59,200.00
12 自動車部品B	90 その他	358,160.00
99 全額	99 全額	1,680,000.00

損益-売上高		
損益要区分	売上	売上
月度	2015年06月	2015年06月
金額	製品大分類名	製品中分類名
5,586,833.00	10 乗用車	20 RV
5,586,833.00	10 乗用車	30 商用
5,586,833.00	10 乗用車	90 その他
5,586,833.00	20 RV	90 その他
5,586,833.00	30 商用	90 その他
5,586,833.00	90 その他	90 その他
5,586,833.00	99 全額	99 全額

集計項目は行・列とも自由に選択！

決算書と現場のデータが繋がる！

決算書を見て全体を把握する…しかし決算書数値と各部門が集計する資料とが一致しない…こんな悩みはありませんか？

SHINは決算書と部門から集めた明細データを橋渡し。決算書からそのまま部門の明細データにたどれます。

損益-売上高		
損益要区分	売上	売上
月度	2015年06月	2015年06月
製品大分類名	製品中分類名	金額
(空白)	(空白)	5,586,833.00
11 自動車部品A	10 乗用車	98,137,916.00
12 自動車部品B	20 RV	21,831,716.00
11 自動車部品A	90 その他	1,833,600.00
12 自動車部品B	10 乗用車	3,389,046.00
12 自動車部品B	20 RV	6,650,584.00
12 自動車部品B	30 商用	59,200.00
12 自動車部品B	90 その他	358,160.00
99 全額	99 全額	1,680,000.00

ユーザー COPY 機能でそのまま Excel で加工

SHINで作成した集計表やグラフは、ボタン一つでExcelへ出力できます。これで効果的な会議報告やプレゼン資料の作成が、短時間でできるよう！

損益-営業利益		
損益要区分	売上	売上
月度	2015年06月	2015年06月
製品大分類名	製品中分類名	金額
(空白)	(空白)	5,586,833.00
11 自動車部品A	10 乗用車	98,137,916.00
12 自動車部品B	20 RV	21,831,716.00
11 自動車部品A	90 その他	1,833,600.00
12 自動車部品B	10 乗用車	3,389,046.00
12 自動車部品B	20 RV	6,650,584.00
12 自動車部品B	30 商用	59,200.00
12 自動車部品B	90 その他	358,160.00
99 全額	99 全額	1,680,000.00

損益-営業利益		
損益要区分	売上	売上
月度	2015年06月	2015年06月
製品大分類名	製品中分類名	金額
(空白)	(空白)	5,586,833.00
11 自動車部品A	10 乗用車	98,137,916.00
12 自動車部品B	20 RV	21,831,716.00
11 自動車部品A	90 その他	1,833,600.00
12 自動車部品B	10 乗用車	3,389,046.00
12 自動車部品B	20 RV	6,650,584.00
12 自動車部品B	30 商用	59,200.00
12 自動車部品B	90 その他	358,160.00
99 全額	99 全額	1,680,000.00

My 帳票機能で帳票カスタマイズ費用のゼロ化！

自由集計で作成した縦軸・横軸・条件などの「集計パターン」は保存しておくことができます。つまりこれは、自由に帳票が設計できるということ！どんなシステムを導入しても見たい帳票が変わるたび半永久的にかかっていたカスタマイズ費用の節約に役立ちます。

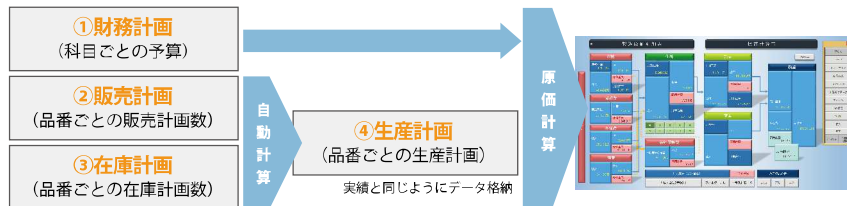
原価管理の究極の目的「利益追求機能」がわかりやすい！

原価管理はなんのために行うのでしょうか？

会計事務所や株主に正確な情報を求められるから？もちろん製品1個当たりの正確な原価を出すことは、正確な利益把握を可能とするため、決算書の信憑性をUPさせ、結果会社の信頼性につながります。しかしそういった理由の他に、もっと会社にとって根本的な目的があります。ズバリ！利益追求です。

予実比較：『計画と何が違っていったのか』

SHINは"3つの計画"をたてると、この数値から実績と同じ原価計算を行い、同じコストフローに格納します。だから、決算書・売上・労務費・経費等の原価・在庫・仕掛等、あらゆる場面での予実比較が可能です。



原価差異分析：『標準と何が違っていったのか』

原価差異分析は、実際に生産した数量に対して、標準通り行えなかった個所を確認するものです。SHINの原価差異分析は、単価差異・数量差異を原価要素ごとに確認できるだけでなく、品番ごと、部署ごとの分析も可能。さらにわかりやすいグラフで表示します。

全原価差異				
	標準原価	数量差異	単価	差異合計
材料費	39,687,623	-4,754,306	7,821,845	31,559,112
労務費	-3,511,668	0	46,507,168	42,995,500
減価償却	1,766,147	-7,761,074	-30,465,045	-36,460,972
経費	65,570,717	0	6,719,356	6,719,356
製造経費			66,914,702	132,405,419
仕掛			1,836,380	1,836,380
在庫			0	0
商品				
合計	96,812,819	-12,115,360	94,433,556	179,130,795



損益見込シミュレーション：『ある条件が変わったら、今期の損益にどう影響するか』

年初に立てた計画値を、当期終了月度まで実績値に置き換えて、通期の損益見込を見ることができます。この損益見込と年初に立てた計画値との差を見ることにより、今期終了時点の計画との差を予測することができます。

終了月度までを実績に置き換えた損益見込



さらに燃料代・材料費の高騰、新設備の導入、ある工程の外注化、様々な条件を変えた"未来の原価計算"機能により、何をどうすれば、計画との差を取り戻せるのか、その状況は今後どのくらい損益に影響を与えるのか等のシミュレーションを行うことができます。

条件を変えたシミュレーション



製番別の実際原価管理：原価の発生をリアルタイムに監視する

SHINは製番別の原価を、月末を待たずに日々集計します。見積りとの比較・受注額との比較・追加原価の発生をリアルタイムに監視することができます。

製番別原価集計										進捗率		利益率		原価合計		完了率		原価		工事	
製番	完了日	完了日	完了日	完了日	完了日	完了日	完了日	完了日	完了日	進捗率	利益率	原価合計	完了率	完了率	原価	完了率	原価	完了率	工事		
ROBETTSU-0001	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0002	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0003	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0004	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0005	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0006	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0007	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0008	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0009	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0010	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0011	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0012	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0013	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0014	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0015	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0016	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0017	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0018	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0019	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
ROBETTSU-0020	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	2015/3/20	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		

毎朝のお楽しみ：経営ダッシュボード機能

多彩な自由分析を提供する一方で、定型の基本情報をダッシュボードとしても用意しています。『朝刊 SHIN』は前日の売上・仕入などの速報を ABC グラフで、『月間 SHIN』は差異情報なども含んだ月報です。忙しい朝、とりえず SHIN の朝刊に目通す…わかりやすいグラフ表示でリアルタイムに情報が短時間で把握できる、経営者に嬉しい機能です。



システムだけでは足りない。
必要なのはシステムと連携
したコンサルティングだ！



仕入・売上げだけでは足りない。
必要なのは原価計算情報まで
BI するツールだ！

原価管理は「データ資産の有効活用」と言えます。原価管理ができていない・・・ということは、「データ」という貴重な資産を活用できていないということです。SHINは、原価管理の目的である利益追求（信頼性のある利益分析と根拠ある改善提起）のためには、（原価計算結果情報をも含めた）データの有効活用が必須であると考えます。だからSHINは、そのために必要な3つの機能をオールインワンにパッケージしました！

- ①「社内データの統一化」コンサルティングとデータ収集プログラム開発
- ②原価計算機能
- ③集計分析 BI ツール



SHIN 導入のメリット

メリット1 今あるシステムを変える必要がない

導入済みの基幹システムはそのままお使いいただけます。またシステムがはいってなくても、Excel等で管理しているデータも含め、既存データを最大限有効に活用いたします。

メリット2 課題が明確化

原価計算・原価管理に必要なデータが揃っていないでも導入が可能です。今ある、データだけで原価管理がどこまで行えるのかが可視化されます。今何が见えないのか、何をすれば何が見えるようになるのか、こういった課題の明確化自体が、すでに原価管理体制構築の効果と言えます。

メリット3 製品別の標準原価を簡単設定

初期標準原価が簡単に構築できます。分かりにくい労務費率・製造間接費率も、この機能により明確となり、放置しがちな労務費・間接費まで含めた製造原価を設定できます。

メリット4 次年度計画が精度アップ

標準原価を使った精度の高い年度計画作成サポート機能を有しています。コストフローで見る予算比較は、これまでにない縦横無尽な切り口で有益な情報をもたらすことでしよう。

メリット5 低価格

原価管理（利益管理）、情報の有効活用は、会社としての基本。会社の規模を問わず当たり前に行ってほしい。多くの会社で監査や原価管理コンサルを行ってきた会計士の想いが、SHINの基本思想にあります。しかし原価管理システムは非常に高価で大掛かりなものばかり。SHINはこの現状に挑戦し、価格を意識的に抑えています。だから導入コストも将来コストも非常に安い！

- ・製品別原価計算システム、原価管理システムのフル機能でありながら低価格！
- ・BI導入の際に、最もコストがかかるコンサルティングとDB構築費用が含まれている！
- ・自由集計機能により、帳票カスタマイズ費用がかからない

会計士とSlerとの共同開発により誕生した SHIN

BI (Business Intelligence) は事業改善を目的としたデータ可視化の高機能ツールですが、従来のBIには様々な課題があり、企業において思うように活用が定着しないケースが多いように思います。以下に従来のBIが抱える課題の幾つかを挙げてみました。

- × 使いづらく、専門的な知識も必要なため定着しない
- × データマイニング・OLAP・統計解析など様々なサービスが必要となり高価である
- × ユーザのほしいデータが不足しておりIT部門にデータ入手を依頼して手動加工している

このような課題に対応するため、高価な専用システムを必要とせず、また幅広いユーザが情報を分析して独自のダッシュボードやレポートを作成できる「セルフサービスBI」と呼ばれる製品が注目されるようになりました。データ分析に精通したエキスパートにとつては、セルフサービスBIはもってこいのツールと言えるでしょう。しかし、分析に不慣れな人々にとっては自由度が大きい分、かえって使いこなすのは困難という声も一方で耳にすることが多く、万人にとって使いやすく安価な製品は皆無と言っていいでしょう。SHINは、これらの課題を解決するために誕生した製品です。

SHINはこのような企業に最適です

安価に導入・
運用したい



導入後すぐ
運用したい



会計士等、原価の専門家に相談しながら
導入を進めたい



SHINは、低価格を実現するセルフサービスBIのメリットを生かしつつ、原価分析では専門家のお膳立てを製品の機能に加えて、分析に不慣れな人々たちをもナビゲートします。SHINは、まさに会計のプロとSlerとの共同開発により誕生した、新しい発想の利益・原価ナビゲートシステムなのです。

SHINを構成する技術要素 SHINのシステム構成について簡単に紹介します。

SHINに必要なソフトウェアは、データベース※1とMicrosoft Excel 2013 (office professional plus) のみで、OLAP等のサービスは必要としません。

※1) 現バージョンはSQL Serverに対応しています。

PowerPivot for ExcelはExcelのアドイン機能です。従来はSSAS (SQL Server Analysis Services) 等のサーバコンポーネントでオンライン分析を可能とする多次元データベース (Cube) をサーバ上に構築していましたが、PowerPivot for ExcelではExcelのブック内に多次元データベースを作成することができます。また、ブック内に保存されるため、データがポータブルであることも特徴です。

PowerPivotは、SSASと同様にVertiPaqというインメモリDBを使用してオンメモリで動作することで、高速な分析を可能とします。しかし、一般的にPCはサーバよりもメモリ搭載が少ないこと、また原価データは中小規模の企業で見積もっても経年明細レベルで数千万を超えるデータ件数を扱う場合もあることから、大量データの分析レスポンスに考慮する必要があります。SHINでは、会計のプロが必要項目を選定しているので、無駄なデータのメモリ使用は行いません。また、分析レスポンスを上げるための裏側の処理実装により大量データに対応できるシステムを実現しています。

